

平成30年度大型再処理施設放射能影響調査事業評価結果  
(大型再処理施設放射能影響調査事業企画評価委員会)

調査事業名	総合評価
①環境影響に関する調査研究 (公益財団法人環境科学技術研究所委託事業)	A
<p>[委員長とりまとめコメント]</p> <p>幅広い研究が着実に進められており、特に環境中に放出された核種の挙動については、モデルと実測を組み合わせた研究成果が得られつつあると評価する。</p> <p>調査研究ということで、ケーススタディとしてのデータ取得を中心に展開されているが、そのデータの根拠に関する検討や環境科学研究としての一般化にも挑戦してほしい。また、人体内代謝モデルの作成については、ICRPのOIRモデルに取り入れられることを期待する。</p> <p>県産の農産物や水産物を念頭においた対象の選定も地域のニーズに応えられており、研究者のみならず地域生産者にとっても大変興味深い。全調査事業共通だが、得られた成果については対象者のニーズに応じた分かりやすい広報活動に取り組んでいただきたい。</p>	
調査事業名	総合評価
②環境影響に関する調査研究 (公益財団法人日本海洋科学振興財団委託事業)	A
<p>[委員長とりまとめコメント]</p> <p>海洋に放出された核種について、モデルを構築し、実測値によって検証しつつ精緻化する事業が進展しつつあり、不確かさの大きい中、検証可能なモデルの高度化が進められていると評価する。</p> <p>今後は、海洋観測の更なる充実や海技研等での測定結果との比較等が行われることに期待する。また、固有モデルの工夫と特徴を前面に出し、その特殊性から導かれる一般的な解釈を上手く整理できれば、極めて質の高い研究になると考える。</p>	
調査事業名	総合評価
③生物影響に関する調査研究 (公益財団法人環境科学技術研究所委託事業)	A
<p>[委員長とりまとめコメント]</p> <p>国内外の様々な分野から注目を集める研究内容であり、低線量率放射線の影響が個体レベル、組織レベル、分子・細胞レベルで解析が進みつつあり、高く評価する。今後もデータの安定性と信頼性の向上に引き続き御尽力いただきたい。</p> <p>また、マウスを用いて得られた結果をどのようにヒトにあてはめるのか、について留意願いたい。</p>	
調査事業名	総合評価
④小児がん等がん調査事業 (青森県健康福祉部所管事業)	A
<p>[委員長とりまとめコメント]</p> <p>大型再処理施設が稼働した際に懸案事項となるであろう発がん率の上昇に関し、事前の段階からデータを取得するという観点から重要な事業であり、県民のデータとして貴重で先駆的であると評価する。</p> <p>安定的かつ継続的な研究が必要であり、引き続き積極的な情報発信をお願いしたい。</p>	

(参 考)

評価の視点	評価の尺度
(1) 優れた研究成果が上がっているか？ (2) 地域の期待に応えているか？ (3) 社会的ニーズに合致した成果が挙げられているか？	<p>S：想定を上回る優れた成果を上げている。</p> <p>A：基本計画及び実施計画に基づき着実に成果を上げている。</p> <p>B：基本計画及び実施計画通りに成果を上げているとは言えない面もあるが、今後の取組みにより基本計画及び実施計画に基づく成果を達成し得ると考えられる。</p> <p>C：基本計画及び実施計画に基づき成果を上げるためには、実施方法等の大幅な見直しが必要である。</p>